

令和3年度 加賀市行政評価委員会 「公開外部評価会」

第2次加賀市総合計画前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」 評価



令和3年度 加賀市行政評価委員会「公開外部評価会」 第2次加賀市総合計画前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」 評価

1 評価日時

令和3年11月25日（木）9:00～12:00
※オンライン会議形式で開催

2 評価委員

委員長	武田 幸男	(北陸大学)
	河原 廣子	(NPO法人かもママ)
	井筒 幸夫	(山中商工会)
	谷本 直人	(加賀市社会福祉協議会)
	岡崎 晃一郎	(加賀市区長会連合会)
	岩坂 久美子	(各種団体女性連絡協議会)
	富森 正喜	(日本政策金融公庫)
	山田 真名美	(市民公募)

評価方法について

1 評価の決定

- ① 適切 … 内部評価は適當
- ② 修正 … 事業の手法や実施主体、事業費見直し
- ③ 再考 … 施策の貢献度は低く、廃止を含めた抜本的見直し

2 コメント

- ・ 評価結果となった具体的な理由
- ・ その他、附帯意見やコメントなど

【分野】環境・都市基盤

テーマ①：空き家対策の推進

事務事業	内部評価	評価結果	コメント
空家等対策推進事業	継続	適切	・加賀市を住みやすく、さらに魅力的な観光地としていくために、空き家対策をスピード感と透明性をもって積極的に進めること。

【分野】 人・まちづくり

テーマ② : 医療提供体制の充実

事務事業	内部 評価	評価 結果	コメント
医師招へい推進策 事業	継続	適切	・実績も出てきているので、市民に健康管理などから安心を提供できるように、積極的に市民に理解してもらえるように取り組むこと。

【分野】 人・まちづくり

テーマ③ : 広報・広聴体制の充実

事務事業	内部 評価	評価 結果	コメント
広報発行事業	拡 充	適 切	・あらゆる世代の市民に伝わるように、SNSや動画等を活用した情報発信や、紙面での情報の簡略化なども積極的に進めること。

【分野】子育て・教育

テーマ④：魅力ある学校教育内容の充実

事務事業	内部評価	評価結果	コメント
スクールソーシャルワーカー配置事業	継続	適切	・コロナ禍で子ども達のゲーム時間の増加、コミュニケーションの不足が懸念され、相談件数も高止まりしている状況の中で、重要な事業であることから継続すること。
小中学生におけるSTEAM教育の推進事業	継続	適切	・今後はさらに予算を増やすなど、全市的な取り組みとして積極的に進めること。

【分野】 観光・歴史・文化

テーマ⑤ : 三温泉共創による地域の魅力づくりの推進

事務事業	内部評価	評価結果	コメント
三温泉観光誘客助成事業	継続	適切	・アフターコロナ、2024年の北陸新幹線駅開業も見据えて、さらに積極的に取り組むこと。

【分野】ものづくり

テーマ⑥：企業誘致の推進

事務事業	内部 評価	評価 結果	コメント
企業誘致推進事業	継続	適切	・コロナの影響もあるが、できることを積極的に進めていくこと。

**令和3年度 加賀市行政評価委員会「公開外部評価会」
第2次加賀市総合計画前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」 評価テーマ一覧**

番号	分野（政策）	施策（テーマ）	事務事業名	内部評価	担当部局（課・室）	評価委員（予定）	時間（想定）
開会・委員紹介等							9:00 ～ 9:10
1	環境・都市基盤	空き家対策の推進	空家等対策推進事業	継続	建設部（建築課）	北陸大学 武田 幸男 委員長	9:10 ～ 9:30
2	人・まちづくり	医療提供体制の充実	医師招へい推進策事業	継続	医療センター総務課	NPO法人かもママ 河原 廣子 委員	9:30 ～ 9:50
3		広報・広聴体制の充実	広報発行事業	拡充	政策戦略部（スマートシティ課）	山中商工会 井筒 幸夫 委員 社会福祉協議会 谷本 直人 委員	9:50 ～ 10:10
休憩							10:10 ～ 10:20
4	子育て・教育	魅力ある学校教育内容の充実	スクールソーシャルワーカー配置事業	継続	教育委員会（学校指導課）	各種団体女性連絡協議会 岩坂 久美子 委員	10:20 ～ 10:40
5			小中学生におけるSTEAM教育の推進事業	継続			10:40 ～ 11:00
6	観光・歴史・文化	三温泉共創による地域の魅力づくりの推進	三温泉観光誘客助成事業	継続	産業振興部（観光交流課）	市民公募 山田 真名美 委員	11:00 ～ 11:20
7	ものづくり	企業誘致の推進	企業誘致推進事業	継続	産業振興部（企業誘致室）		11:20 ～ 11:40

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑧空き家対策の推進			

事業番号	5802	事務事業名	空家等対策推進事業		
所管部局	建設部	所管課	建築課	グループ	建築グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	<p>空家の適正な管理を所有者等に働きかけて行くとともに、適正な管理が行われていない空家等に関しては必要な措置を行い、市民の生活環境の保全を図る。</p>								
実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など								
	<p>危険な空き家を解消するため、所有者等の自主的な危険な空き家の解体の促進に努め、21件の自主解体に支援を行った。 また、特定空家2件については前面道路への倒壊のおそれがあり、通行人及び隣家の住民に危害が及ぶ危険性があるため、行政代執行により除却を行った。 さらに、山代温泉で老朽化や管理不全による外壁材の剥離・落下により周辺道路の通行人や近隣住宅に危険を及ぼしていた廃業旅館について、地域住民の安全・安心を確保するため市が取得し解体工事を行い完了した。</p>								
	令和2年度決算								
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名
①	209	一般会計	4	2	3	2	17	生活環境対策費	6,306
②	209	一般会計	4	2	3	2	17	生活環境対策費 (危険空家等解体助成費分)	5,078
③	209	一般会計	4	2	3	2	17	生活環境対策費(繰越明許分)	458,296
関連決算額合計									469,680
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	低い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続			
	評価に関するコメント	<p>市内には多くの空き家が存在しており年々増加傾向となっている。これらの空き家が市民生活に悪影響を及ぼさないよう各事案への対応が必要であり、危険な空き家等への解体補助制度をはじめとした各種支援を継続していくことが重要である。 費用対効果については決して高いものではないが、危険な空き家等の解体を促進し、安心、安全な市民生活を確保するため継続して取組んでいくことが有効である。</p>							
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	<p>国の制度や、他自治体の取組状況等に関する情報を積極的に入手し、市民生活への影響が大きい事案等を優先的に取組み継続していくことが必要である。</p>								

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	④医療提供体制の充実			

事業番号	4402	事務事業名	医師招へい推進策事業		
所管部局	医療センター 管理部	所管課	総務課	グループ	人事グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>地域に必要とされる医療を安定的に提供するとともに、医療の質の向上を図るため、医師の招へいを長期的・継続的に実施する。また、働きやすく働き甲斐のある職場環境づくりへの取り組みにより、継続した人材確保の実現を目指す。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など																																												
	<p>医師の派遣を受けている関連大学医局に対し、診療実績をもとに派遣医師増員の必要性を説明した他、加賀市にゆかりのある医師及び多様な働き方に対応する招へい活動を継続的に実施することで、臨床研修医以外の常勤医は3名増員した。</p> <p>一方、臨床研修医は、令和2年度も2名の基幹型初期臨床研修医を迎え入れることができ、基幹型臨床研修病院として初の修了者2名を輩出した。協力型臨床研修病院としては、金沢大学病院の初期研修医3名受け入れた。</p> <p>働きやすい職場環境づくりとして、月の日当直回数を3回以下とすることを目標としている。令和2年度は、平均2.0回となった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、招へい活動はリモートに切替わった内容も多く、経費は減少した。</p>																																												
	令和2年度決算																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>- 病院事業会計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>経費(報償費)</td> <td>980</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>- 病院事業会計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>経費(報償費以外)</td> <td>7,325</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>- 病院事業会計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td>研究研修費</td> <td>3,993</td> </tr> <tr> <td colspan="8">関連決算額合計</td> <td>12,298</td> </tr> </tbody> </table>	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	- 病院事業会計	1	1	3			経費(報償費)	980	②	- 病院事業会計	1	1	3			経費(報償費以外)	7,325	③	- 病院事業会計	1	1	6			研究研修費	3,993	関連決算額合計							
頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																					
①	- 病院事業会計	1	1	3			経費(報償費)	980																																					
②	- 病院事業会計	1	1	3			経費(報償費以外)	7,325																																					
③	- 病院事業会計	1	1	6			研究研修費	3,993																																					
関連決算額合計								12,298																																					

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>本事業は、加賀市医療センターが市内唯一の急性期病院として、地域に必要とされる医療を安定的に提供し、更に医療の質の向上を図るために必要であることから、今後も継続して実施する必要がある。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>地域の医療需給状況を注視しながら、診療実績をもとに関連大学に派遣の働きかけを継続すると共に、当地域にゆかりのある医師の情報に迅速に対応し、招へいに繋げる。</p> <p>更に、将来を担う医療人を育成する施設として、臨床研修医の受入れを積極的に行うとともに、医学部在学学生にも当院を研修先として選んでいただけるよう、見学や実習を通じてアピールを続ける。</p> <p>また、働きやすく働き甲斐のある環境を整えるため、医師の事務的負担の軽減に努め、女性医師のワークライフバランスに配慮した時短勤務や、多様な働き方に対応していく。</p> <p>これらを継続することにより、医師の招へいを推進し、一人でも多くの医師に、この地域で長く働いていただけるよう努めていく。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり			
施策	②広報・広聴体制の充実			

事業番号	7201	事務事業名	広報発行事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	シティプロモーショングループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

「加賀市広報規則」に基づく事業。市民の市政に対する理解を深めるために、市の施策等に関する情報の周知啓発を行うもの。

事業の進捗、令和2年度の主な成果

実施状況

毎月1日に「広報かが」を発行。市内各世帯(約25,000世帯)に配布するほか、市内の公共施設や商業施設(合計70箇所)に配置している。また、市ホームページとSNSへの掲載、スマホ用アプリへを利用した配信も行っている。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	53	一般会計	2	1	4	1	1	広報発行費	22,137
②									
③									
関連決算額合計									22,137

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	拡充
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

市の情報発信の根幹を成すもの。各世帯への周知啓発媒体として欠くことはできない。

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

全ページをカラー化し、視覚的効果を見込める魅力ある紙面づくりが必要と考える。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1411	事務事業名	スクールソーシャルワーカー配置事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	児童生徒のいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動、子どもの貧困問題については、学校だけでは解決困難な場合が多いことから、スクールソーシャルワーカーが地域や関係機関と連携を図りながら問題の解決に向け取り組む。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	学校だけではなく、家庭、専門支援機関、行政機関など各機関と連携・調整し、624件の訪問を行い、問題の解決を進展させた。また、各学校へのアドバイス、状況確認を行うための訪問を年間で複数回計画し、実施した。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	260	一般会計	10	1	3	9	1	室員等賃金	7,034
②	260	一般会計	10	1	3	9	3	教育支援相談推進費	381
③									
関連決算額合計									7,415

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	学校現場への負担が軽減し、改善に向かうケースも増え成果が大きい。今後も各機関と連携・調整し、訪問等を実施する必要がある。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	アドバイス等のための全学校への訪問を、複数回定期的実施し、学校の指導力を高めていく。 平成30年度からは、教育研究、教員研修、生徒指導を行う組織を一元化し、それぞれの機能を連携強化し、学校教育上有効な施策を展開するための「教育総合支援センター」に所属したことにより、教育相談、学校復帰支援等の事業とも連携する体制が構築されたので、この体制が効果的に働くよう取り組みを継続し、不登校の減少や学校・家庭への支援に取り組んでいく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1418	事務事業名	小中学生におけるSTEAM教育の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

現在、Society 5.0を迎えようとしており、私たちの社会は、様々な知識や情報を基に今までにない新たな価値を生み出し、世界規模の課題や答えがない困難を克服していかなければならない。このような社会を自ら創り、生きていくため、義務教育段階においても、各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための教科横断的な教育を推進し、問題発見・課題解決的な学習を図る必要がある。これまで各校で取り組んできたプログラミング教育を発展的に継続するとともに、「総合的な学習の時間」の充実を図り、どのようなカリキュラムが児童生徒にとって問題発見・解決能力を育むか実践を通じて研究する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和元年度、シンガポールSTEMやグーグル合同会社提供による教材を活用し、3小学校5学級でカリキュラムを実施した。
令和2年度は、東和中学校で2年生の総合的な学習の時間でのモデルカリキュラムを作成するとともに、小学校での実施を見据えて、小学校5年生、6年生で活用する教材の予算化を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	260	一般	10	1	3	2	4	STEAM教育推進費	3,423
②									
③									
関連決算額合計									3,423

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
令和の日本型学校教育を構想するために有効な教育理念である。予測がより困難な時代において、教科等で育成した資質・能力を総動員しながら主体的に課題に向き合い、解決していく資質能力をSTEAM教育を通じて育成することができる。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

STEAM教育を推進し、予測が困難な時代においても、自ら考え、他者と協働しながら主体的に問題を解決できる力を育成していく。そのために、総合的な学習の時間の充実を図っていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進			

事業番号	2201	事務事業名	三温泉観光誘客助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

三温泉の観光関係団体が実施する観光情報の発信や宣伝事業、北陸新幹線金沢開業効果を継続させるためのソフト事業、鉱泉の維持管理や新規掘削する事業を支援することにより、それぞれの温泉地が共に競い合いながら魅力を高めることで世界から選ばれる温泉共創地を実現するための環境づくり及び観光の振興を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

三温泉観光協会が実施した、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ウェブ等を使った広告宣伝、観光宣伝資料の作成、都市圏への出向宣伝、ホームページを活用した効果的な情報発信のほか、加賀温泉郷を総合的にPRするための事業費に対して補助を行った。

また、三温泉で新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光需要回復を目的として、コロナ対策及びアフターコロナを見据えた事業を行い、山代温泉観光協会によるあいうえおの郷PR事業や大手旅行会社とのタイアップ事業、山中温泉観光協会による夜の回遊性を狙ったライトアップ事業やフォトコンテストの実施、片山津温泉観光協会によるJALオンライントリップと連携した宣伝事業・片山津温泉魅力発見イベント、ライトアップイベントなどの事業費に対して補助を行った。

鉱泉源保護施設助成事業として、三温泉(柴山温泉含む)の源泉管理者が行う、湯湯設備に係る湯量計測器の維持管理、ポンプ等の修理代、電気料等の経費や、各種修繕工事費に対して補助を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	39,000
②									
③									
関連決算額合計									39,000

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	<p>三温泉地や加賀温泉郷全体の観光情報の発信、宣伝事業やソフト事業を展開し、効果的な情報発信や温泉地の活性化が図られる。各温泉地が独自の事業を展開することで、それぞれの個性を最大限に活かした魅力的な観光施策が展開されている。</p> <p>また、北陸有数の三温泉地を抱える加賀市において最も重要な資源の一つである「源泉」に関する施設の適切な管理・保護を推進することにより、旅館などの温泉施設に安定的に供給され、温泉観光地としての安心安全が確保されている。</p>					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

加賀市の観光振興のため、本来、市が主体となって行うべき温泉地の魅力づくりや観光情報の発信を中心とした、経常的な総合観光事業と都市圏や海外に向けた戦略的な誘客事業に対する補助を行い、加賀温泉郷の情報発信、知名度の向上につなげる。

また、鉱泉源保護施設助成事業を行い、市内の管理受給施設に公平、かつ安定的に源泉が供給されるように努める。

温泉観光地として、ウィズコロナ・アフターコロナ対策を講じ、安心・安全な観光地であることをPRしながら、2024年の北陸新幹線加賀温泉駅開業に繋げる。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	③企業誘致の推進			

事業番号	3301	事務事業名	企業誘致推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	企業誘致室	グループ	—

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>企業誘致を促進することで地域産業の振興と雇用の創出により、市民生活の安定を図るとともに、人口減少、特に若年者や女性の市外流出を抑制する。さらに土地の有効活用、企業の設備投資を促し、税収の増加を図る。</p>
-------	--

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>・室員による企業訪問、進出を検討する企業への用地等の紹介や視察の対応を行った。 ・企業イベントにブース出展し、全国の企業に向けて加賀市に立地することへのメリットをPRした。 ・北陸自動車道片山津インターに近接した「片山津IC産業団地」が令和2年3月分譲を開始し、製造業や運輸業の企業を中心に誘致活動を行った。</p>
------	---

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	2	6	1	企業誘致推進費	1,909
②	191	一般会計	7	1	2	6	5	工場団地管理費	63
③									
関連決算額合計									1,972

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>
評価に関するコメント	<p>令和2年8月にベンチャー企業である株式会社BASICSが大阪市より山代温泉地内に事務所を移転立地し、AIやロボティクスのシステム開発を行う事業を開始した。</p>		

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>・産業振興行動計画の推進、成長産業分野、IT関連、高度人材、ベンチャー企業の誘致を目指し情報収集、アフターコロナの状況を踏まえて企業訪問を実施。 ・「片山津IC産業団地」の早期分譲に向けて、企業訪問による紹介や企業イベント出展をアフターコロナの状況を踏まえて実施。 ・誘致を目指す産業分野の企業、先進人材に対して投資・立地意欲が沸く支援内容の精査を続ける。</p>
--------	---